



長野県難聴児支援センター ニュースレター

令和2年度
第2号

長野県保健・疾病対策課

信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科



2020年は新型コロナウイルス感染症が流行し、緊急事態宣言にともなう外出自粛や休校、東京オリンピック・パラリンピックの延期など、さまざまな出来事のあった1年となりました。人と接するときにはマスクの着用が必須となり、口の動きも見ながらコミュニケーションをとっている難聴の方々にはとても大変な状況が続いています。訪問支援に出向いた先でも、マスク着用に関わる相談を多く受けました。クリアマスクの着用や板書等の視覚支援を増やしていただくなど、それぞれの場所で工夫していただいています。このような状況下でも、「難聴児も共に学べる環境作り」に関わる皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

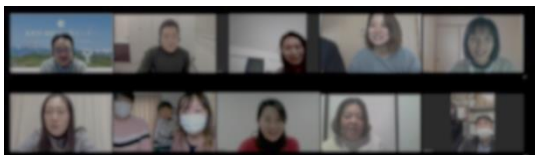


《ファミリーセミナー》 オンライン開催

3回シリーズで行なっている『ファミリーセミナー』は、今年度①「8月・9月・10月」②「12月2回・1月」の2クール開催しました。感染が拡大する中、参加者全員のマスク着用、検温、手指のアルコール消毒、換気等の感染対策をしながら行ってきました。

2クール目には、来年度「難聴児支援センター」の開設に向けて準備されている岐阜県健康福祉部の方々にもご参加いただきました。12月のセミナーでは、岐阜県の感染レベルが上がったため、Zoomを利用してご参加いただきました。

1月に行った医学的な内容のセミナーは、長野県内も感染が拡大してきたことから、参加者の皆さんの安心・安全を考え、『オンライン開催』としました。難聴の確定診断を受けたお子さんのご家族、新生児聴覚検査の2次検査機関の先生方、ろう学校の先生方など、30名を超える方々にご参加いただきました。初めての試みでしたが、参加者からは「子どもも家での環境だと安心して居られたり、外へ出かける準備や小さい子を連れたの車の運転などの心配がなく、メリットがあるように感じました。」「事前に接続の確認ができ、しっかりお話を聞くことができ良かったです」「感染の心配もなく、Zoomでのファミリーセミナーも良いなと思いました」など



きこえの検査を知る
ウイルスにも注意：先天性サイトメガロウイルス感染症

①先天性難聴の25%を占める
②遺伝性、進行性、変動性、一側性等、様々な難聴の様式をとりうる

聴覚検査法

10~15%聴覚検査	85~90%聴覚検査	90~95%聴覚検査
100%聴覚検査	95~99%聴覚検査	100%聴覚検査
聴覚検査	聴覚検査	聴覚検査

②聴覚検査の種類
③聴覚検査の種類

④聴覚検査の種類

⑤聴覚検査の種類

⑥聴覚検査の種類

⑦聴覚検査の種類

⑧聴覚検査の種類

⑨聴覚検査の種類

⑩聴覚検査の種類

⑪聴覚検査の種類

⑫聴覚検査の種類

⑬聴覚検査の種類

⑭聴覚検査の種類

⑮聴覚検査の種類

⑯聴覚検査の種類

⑰聴覚検査の種類

⑱聴覚検査の種類

⑲聴覚検査の種類

⑳聴覚検査の種類

㉑聴覚検査の種類

㉒聴覚検査の種類

㉓聴覚検査の種類

㉔聴覚検査の種類

㉕聴覚検査の種類

㉖聴覚検査の種類

㉗聴覚検査の種類

㉘聴覚検査の種類

㉙聴覚検査の種類

㉚聴覚検査の種類

㉛聴覚検査の種類

㉜聴覚検査の種類

㉝聴覚検査の種類

㉞聴覚検査の種類

㉟聴覚検査の種類

㊱聴覚検査の種類

㊲聴覚検査の種類

㊳聴覚検査の種類

㊴聴覚検査の種類

㊵聴覚検査の種類

㊶聴覚検査の種類

㊷聴覚検査の種類

㊸聴覚検査の種類

㊹聴覚検査の種類

㊺聴覚検査の種類

㊻聴覚検査の種類

㊼聴覚検査の種類

㊽聴覚検査の種類

㊾聴覚検査の種類

㊿聴覚検査の種類

なぜ人工内耳を使うときこえが良くなるのでしょうか

① 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

② 手術によりこのインプラントを埋め込みます。

③ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

④ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑤ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑥ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑦ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑧ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑨ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑩ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑪ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑫ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑬ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑭ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑮ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑯ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑰ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑱ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑲ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

⑳ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉑ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉒ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉓ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉔ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉕ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉖ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉗ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉘ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉙ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉚ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉛ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉜ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉝ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉞ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㉟ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊱ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊲ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊳ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊴ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊵ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊶ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊷ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊸ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊹ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊺ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊻ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊼ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊽ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊾ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

㊿ 聴覚神経が正常に機能していることが前提です。

感想をいただきました。難聴のお子さんを支える多くの方にご参加いただけるよう、今後もセミナー開催の方法を検討していきたいと思えます。



令和2年度 新生児聴覚検査（令和2年4月～12月まで）報告

実施機関の皆様には、いつも新生児聴覚検査にご協力いただきありがとうございます。今年度、1月31日までにご報告いただいた実施状況についてご報告させていただきます。

対象者数	9,156
非検査数	47
新スク検査数	9,109
パス件数	9,049
2次検査数	60

昨年度、残念ながら検査を受けなかったお子さんは、過去最少ではありましたが、81名でした。今年度は、現在報告いただいている12月末までで、47名です。一人でも多くのお子さんが検査を受けられますよう、実施機関の皆様には、今後とも引き続きご協力をお願いいたします。

別紙、新生児聴覚スクリーニングの啓発チラシ「99%の方が受けている検査です～きこえの検査をうけましょ～！」もご活用いただければ幸いです。必要部数をご連絡

いただければ、郵送させていただきますので、難聴児支援センターまでご連絡ください。

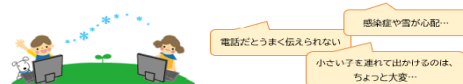
今年度【1月から3月分】は、4月に難聴児支援センターへ報告いただくことになっています。今年度1年間分については、2020年度の難聴児支援センター活動報告書に記載し、ご報告させていただきます。ご協力、よろしくお願いいたします。なお、まだ令和2年4月～12月までのご報告をいただいている機関の皆様も、お忙しい中ですが、ご協力、よろしくお願いいたします。



オンライン相談 始めました

難聴のお子さんのご家族も、今の時期は、家の中で過ごす時間が多くなっていると思います。そんな中、「補聴器を始めたけど、ちょっとハウリングが気になる。このつけ方で合っているのかな?」「電話だと伝えたいことがうまく伝えられなくて」といったご相談をお受けすることがあります。

実際にお子さんの様子を見せていただくことで、その状況にあった対応と一緒に考えることもできますので、ぜひ、オンライン相談をご活用ください。詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせは、下記センターまでお願いします。



オンライン相談 始めました!

無料のビデオ通話アプリ「ZOOM」を利用し、ご自宅にいながらお子さんの聞こえや補聴器、ことばのかけなど、不安なことなど、なんでもご相談いただけます。「オンラインって難しそう…」「初めてだけど大丈夫かな?」…と不安な方もいらっしゃると思いますが、簡単な準備と操作ですので、安心してお申し込みください。

【オンライン相談の流れ】

- 長野県難聴児支援センターあてにメールを送信する。
①お名前 ②電話番号 ③相談希望日時(第2希望まで記載)
④相談したい内容(簡単に) ⑤使用する機器(パソコン・スマートフォン・タブレットなど)
- 担当者より相談日時の連絡をする。(電話またはメール)
- 前日までに担当者より、参加URL・ミーティングID・パスワードをメールで送信する。
- 相談者は、「ZOOM」のアプリを使用する機器にダウンロードしておく。
- 相談予定日時になったらパソコンの場合は、送信メールに記載のURLをクリック
スマートフォン・タブレットの場合は、ミーティングID・パスワードを入力し、「参加」をクリック

相談可能日時
平日 9:00～17:00
(木曜日は 14:00～17:00)

相談無料
(※インターネット利用に伴う通信料については相談者負担になります)

長野県難聴児支援センター 信州大学 医学部・附属病院
〒390-0802 長野県松本市旭 2-11-30 松本旭町庁舎内2階
TEL 0263-34-6588
FAX 0263-34-6589
Email: mimi@shinshu-u.ac.jp

長野県難聴児支援センター

松本市旭 2-11-30 松本旭町庁舎 2階

TEL 0263-34-6588

FAX 0263-34-6589

mimi@shinshu-u.ac.jp

センター長 : 工 穰

療育支援員 : 山岡 美穂



長野県難聴児
支援センター